



地域経済の振興とまちづくりに全力

がんばります

原田 完です

日本共産党 京都府委員会 <https://www.jcp-kyoto.jp>

京都府議会予算特別委員会の論戦で

国保の保険料引き上げ、生活困窮者には冷たい府政

関西大学の富田教授が大阪維新政治の実態を話されるとき、「子どもたちが遊んでいるのを見て、この中の五人に一人が毎日のご飯をちゃんと食べられていないと思うと切なくなり心が痛む」と大阪の子どもたちの貧困率を取り上げていました。

国は国民健康保険制度を変更し、社会保険の予算が削減されました。京都府は平成三〇年に市町村国保を京都府に一元化して単一国保となり、京都府が国保事業主体となって、保険料は各市町村に納付金として、それぞれの国保会計実態で付加し集める制度へと変えました。

私たちの暮らしは、コロナ禍三年目に入り、京都府民の収入は府民の雇用報酬の全国順位で二〇〇一年一四位だったが一八年には三二位まで後退し、賃金は二五年前を一〇〇とする八八・九%まで減少。年金生活者の年金も毎年減らされ続けています。

世帯、無保険者の世帯は本当に医療にかかっているのか、京都府は実態を把握しているのかと聞くと、京都府としては保険加入者の生活実態、経済環境、医療受診実態もすべて市町村任せで現状すら聞いていないとのこと。府民の苦しみに心を寄せない冷たい府政であること明らかになりました。

おすすめ記事

日刊紙 (2月22日付)

朝の風

今日の課題とマルクス

マルクスが『資本論』で、未来社会につながる労働者階級のたたかひの成果として、イギリス工場立法の先進性を論じたことは、よく知られた事実である。

彼は「工場立法」を、「社会が、その生産過程の自然成長的姿態に与えたこの最初の意識的かつ計画的な反作用」とし、例えば「その教育条項は、全体として貧弱に見えるとはいえ、初等教育を労働の義務的条件として宣言している」（新版『資本論』第3分冊）と評価する。

また、資本主義における大工業が、「ジェンダー平等」の新しい経済的基礎をつくりだすと述べている。今日の重要な政治的課題を既に19世紀中頃に指摘していた彼の先

見性に驚かされる。

「資本主義制度の内部における古い家族制度の解体が、どれほど恐ろしくかつ厭（いと）わしいものに見えようとも、大工業は、家事の領域のあなたにある社会的に組織された生産過程において、女性、年少者、および男女の児童に決定的な役割を割り当てることによって、家族と男女両性関係とのより高度な形態のための新しい経済的基礎をつくり出す」（同）といっているからだ。「家族と男女両性関係とのより高度な形態」が、ジェンダー平等に基づく社会を意味していることは明らかだろう。（伸）



原田完府会議員 定例府議会で一般質問 (2月15日)
2月定例府議会の一般質問が2月14日から16日まで行われ、日本共産党から原田完議員、山内よし子議員、森下よしみ議員の三人が質問に立ちました。

質問では、コロナ禍での府民の命と暮らしが脅かされている実態を示し、農業、中小企業、教育、医療体制など府民の切実な要求を取り上げ、知事をはじめ府政が果たすべき役割実行を厳しく求めました。しかし、知事や理事者からは府民の思いに寄りそうまともな答弁がされませんでした。

原田完府会議員の一般質問は日本共産党京都府会議員団ホームページから視聴できます。

世帯は保険料滞納世帯が二一年六月時点で滞納世帯三万件あり、三カ月ごとの短期保険証さらに滞納が続いている厳しい世帯は資格証明書の発行で医療機関窓口一〇割支払いをしなければなりません。さらに深刻な世帯は無保険者となっています。短期証や資格証明書の

「それってお手盛りって云うんじゃないの」「サッカースタジアムの芝生張替え予算

文化スポーツ部審議では亀岡サッカースタジアムの指定管理者契約で従来の七千万円に今年から芝生の管理、三年に一度の張替えに八千万円上乗せする予算案が出されました。芝生の張替えに八千万円の根拠を聞くと「リーグ関係者、指定管理者、芝生の管理をしている企業に聞いたとすべてがスタジアム関係者でした。」

亀岡サッカースタジアムは昨年オリンピックの聖火リレーで伴走者と一緒に自動車は何周もして芝生が傷み張替えとなったため、一千万円をかけて修繕したところでした。今回の三年ごとの張替え費用は入札にかけることも無く、関係企業の要望だけで契約内容の透明性、妥当性は評価することはできません。

他のスポーツ施設の大規模改修は改修のたびごとに入札にかけ、芝生の種類、価格の比較、工事費用など公正さ第三者委員会の検討評価を受けて競争入札で決定してきたものです。府民の税金を使う上で、第

